

An aerial photograph of a city, likely Tokyo, with a dense urban landscape. In the background, the snow-capped peak of Mount Fuji is visible against a clear blue sky. The city features a mix of residential buildings, commercial structures, and green spaces. A large stadium with a green field and a blue roof is prominent in the lower right quadrant. The overall scene is captured from a high angle, providing a comprehensive view of the city's layout and its proximity to the mountain.

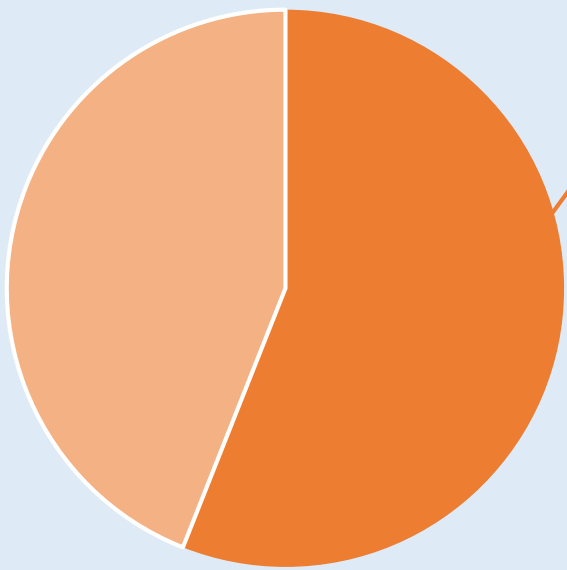
報告事項 防災対策事業の 推進状況について

令和5年2月9日(木)

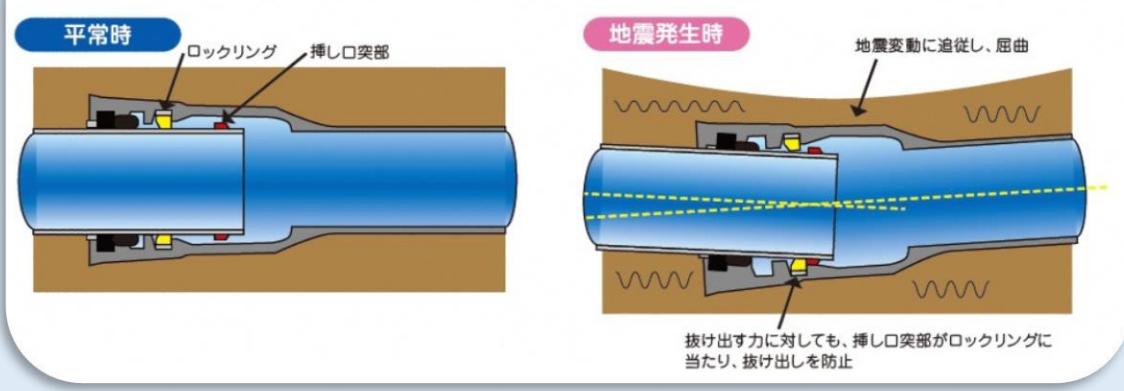
I 災害に強い都市づくり

1. 水道管路の耐震継手化事業(平成22年度～)(令和2年3月末現在)

進捗率(立川市) 56%



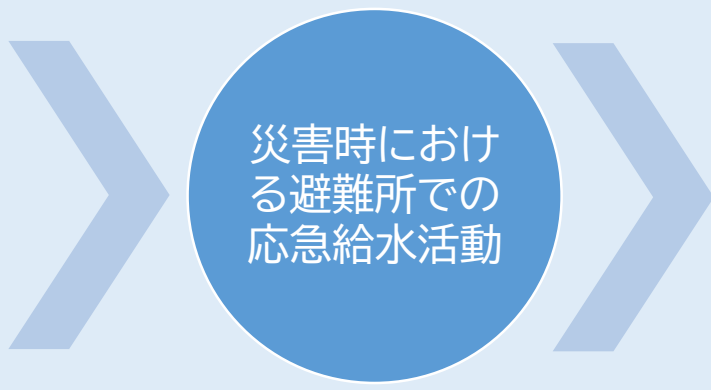
< 耐震継手管の機能 (イメージ図) >



引用:東京都水道局HP 給水所・配水管・水運用センターの紹介

2. 一次避難所への応急給水栓設置(平成29年度～令和2年度)

- ✓平成29年度19か所
 - ✓平成30年度 6か所
 - ✓平成31年度4か所
 - ✓令和2年度 1か所
- 一次避難所への整備完了



I 災害に強い都市づくり

3. 木造住宅耐震診断助成制度及び木造住宅耐震改修等助成制度

木造住宅耐震診断助成制度 (平成20年4月～)	木造住宅耐震改修等助成制度 (平成21年4月～)
23件	21件

令和4年度実績(令和4年12月末現在)

4. 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業(平成23年度～)

耐震診断	補強設計	耐震改修等
1件	3件	3件

令和4年度実績(令和4年12月末現在)

5. 家具転倒防止器具助成事業 申請者数

高齢者	障害者
13件	0件

令和4年度実績(令和4年12月末現在)

6. 市民防災組織倉庫の公園等への設置(平成22年度～)



四番組自治会 防災備蓄倉庫(平成31年度設置)

I 災害に強い都市づくり

7. JR高架下への防災物資の保管(平成24年度～)

8. 東京都多摩広域防災倉庫への防災物資の保管(平成29年度～)



9. ブロック塀等撤去工事等助成制度(平成30年度～)

撤去	一部撤去	改修	新設
2件	0件	0件	1件

令和4年度実績(令和4年12月末現在)

II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

1. 総合防災訓練の実施

令和4年10月30日(日)に立川市立第三小学校他において、立川市総合防災訓練を実施した。訓練項目のひとつとして地域の方々が中心となって、感染症対策に対応した避難所開設・運営訓練を実施した。また防災関係機関による展示等を実施した。新たな試みとして、協定締結しているタクシー事業者と共に、自力での避難が困難な要配慮者の移送訓練を実施した。関係機関等含め828人が参加した。令和5年度は11月12日(日)、立川市立立川第一中学校他で予定。



総合防災訓練本会場(第三小学校)



避難所開設・運営訓練の様子

2. 地域防災訓練の学校との合同実施

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、訓練規模を縮小しての実施や訓練を中止・延期していたが、令和4年度は自治会連合会支部を中心に**13会場**で実施した。

各地区では自治会・市民防災組織・市民消火隊・消防団の方々と連携して、救護訓練や防災資器材の確認等に取り組んだ。13会場の総数として**3,419人**が参加した。

3. 避難所運営支援事業

平成31年度より、「地域版防災マップの更新」をメインに実施し、今年度において12地区すべてのマップ更新が完了する予定。その他避難所運営訓練の企画や、運営マニュアルの更新など引き続き支援を行っていく。

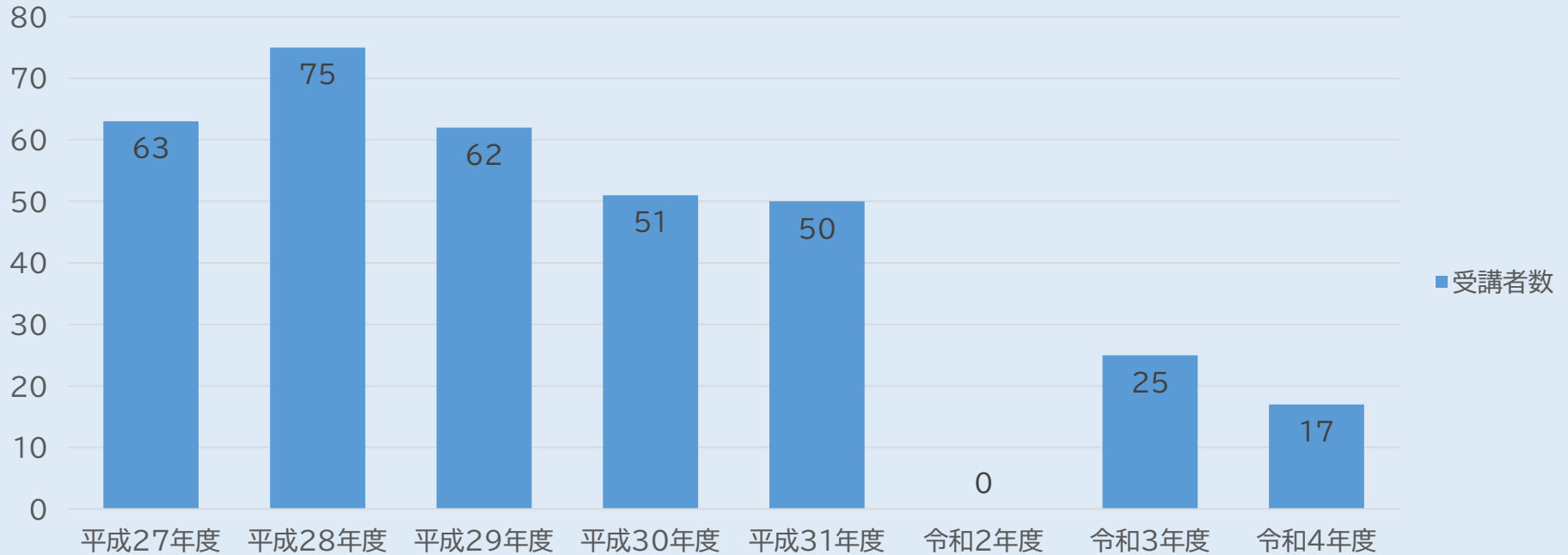
事業年度	地区		
平成27年度	富士見町	柴崎町	羽衣町
平成28年度	栄町	幸町	柏町
平成29年度	錦町	曙町	若葉町
平成30年度	高松町	砂川	西砂
平成31年度	富士見町	柴崎町	羽衣町
令和2年度	栄町	幸町	柏町
令和3年度	錦町	曙町	若葉町
令和4年度	高松町	砂川	西砂
令和5年度(予定)	富士見町	柴崎町	羽衣町



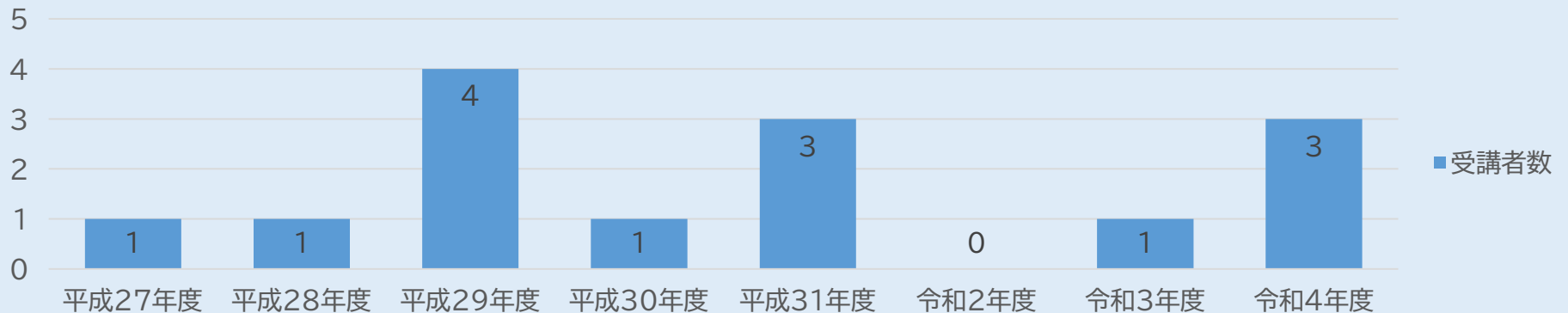
参考: 錦町二丁目地区地域版防災マップ (令和4年3月更新版)

Ⅱ 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

4. 市民防災組織の救命講習受講（平成19年度～）



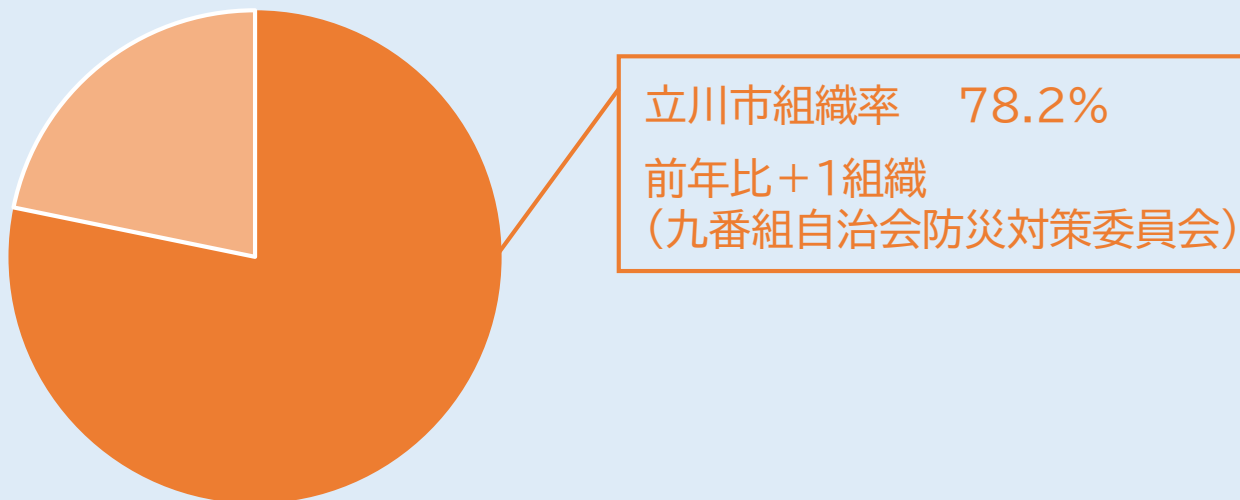
5. 防災士資格取得の支援(平成20年度～)



II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

6. 市民防災組織の結成促進(令和4年12月末現在)

地域における「共助」を推進するため、市民防災組織の結成促進と組織の運営を充実させるための運営補助金を交付した。令和4年12月末現在140組織の市民防災組織が活動している。



市民防災組織運営充実のための主な補助金等

補助金名	補助基準	補助金額
市民防災組織結成補助金	市民防災組織を結成した年に交付	20,000円
市民防災組織運営費補助金	結成補助金を交付した年度の翌年度以降、年度ごと	15,000円+世帯数×@50 (限度額=70,000円)
立川市市民防災組織電源確保事業補助金	非常用発電機等機材を購入する場合	購入費用の2分の1(上限有)

II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

7. 立川駅周辺帰宅困難者対策(平成22年度～)

11月14日(月)に多摩直下を震源とした地震により、立川駅周辺に多数の帰宅困難者が発生した想定で、立川駅前帰宅困難者対策訓練を実施した。JR立川駅南口・北口周辺、窓口サービスセンター他において、南北臨時案内所の設置・運営訓練や現地本部立上げ訓練や情報伝達訓練等を実施した。

近年は感染症蔓延のために訓練中止または無線等の情報伝達訓練となっていたが、感染症防止を踏まえ、接触を極力減らしながら実動訓練を再開し、防災関係機関7団体、市職員25名が参加した。



臨時案内所での設営・運営訓練(北口)



情報伝達訓練(現地本部)

II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

8. 災害時支援協定の締結

令和4年度(前回防災会議以降の協定締結分も含む。)

公益社団法人東京都柔道整復師会多摩中央支部(応急救護活動の協力)

王子コンテナ(株)東京工場(段ボールベッド等供給)

日本交通立川(株)(井戸水の供給)

トヨタS&D西東京(株)(電動車両の支援)

特定非営利活動法人立川災害ボランティアネット(避難所運営等)

フェニックス・フードサービス(人材派遣)

イオンモール(株)(車両による一時避難場所等)

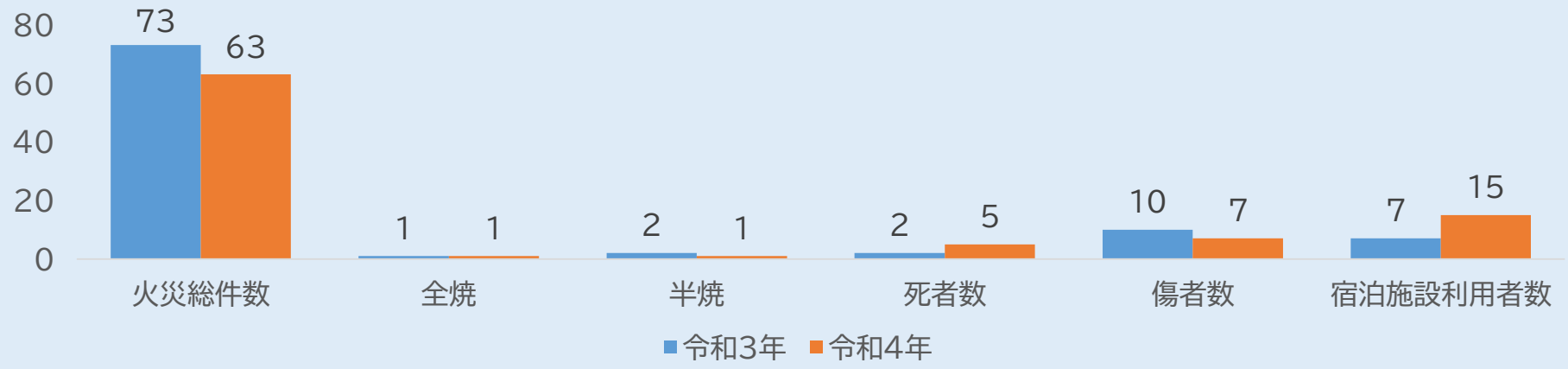


災害時における支援協力に関する
運営マニュアル

令和4年9月作成
イオンモールむさし村山
立川市

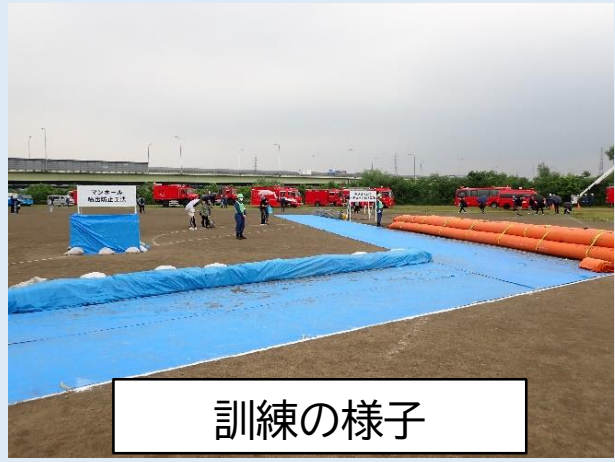
Ⅲ 防災活動体制の充実

1. 火災り災者の支援(令和4年12月末現在)



2. 三市二署合同水防訓練の実施

令和4年5月21日(土)に国立市多摩川河川敷公園において、集中豪雨により水害が発生したという想定で、各関係機関が連携し、各種水防工法、水没車両からの救助救出訓練、地域住民参加型訓練等を国立市・立川市・昭島市合同で実施した。参加機関や見学者等も含め約1,500人が参加した。令和5年度は5月21日(日)、立川市多摩川左岸で予定。



訓練の様子



閉式の様子

Ⅲ 防災活動体制の充実

3. 立川市消防出初式の実施

年頭にあたり「自分たちのまちを、自分たちで守る」という立川市消防団及び市民の防災組織と消防関係者の士気高揚と市民への防災意識の向上に資することを目的に、令和5年1月8日(日)に国営昭和記念公園みどりの文化ゾーンにおいて、立川市消防出初式を実施した。

一斉放水などの消防演技、市吹奏楽団の演奏のほか、はしご車体験乗車などを行った。来賓・参加団体等含め**1,750人の参加**となった。

令和5年度は令和6年1月7日(日)、国営昭和記念公園で予定。



消防演技(一斉放水)



会場の様子(国営昭和記念公園)

Ⅲ 防災活動体制の充実

4. 図上防災訓練の実施(平成22年度～)

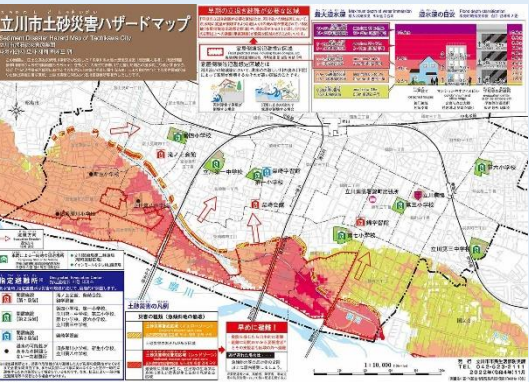
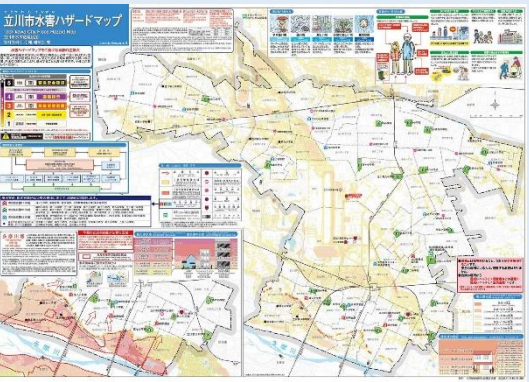
令和4年11月10日(木)～令和5年2月3日(金) 会場:立川市役所

5. 被災者生活再建支援研修

令和4年度 課税課、収納課、保険年金課の各課で研修を実施。

6. 立川市防災ハンドブック、立川市防災マップ・水害ハザードマップ等 作成・配布

立川市防災ハンドブックは、内容を精査し、初動対応を分かりやすく明示し、約2年ぶりとなる改定を行った。立川市防災マップ・水害ハザードマップは、名称を「水害ハザードマップ」に変更、立川市単
独処理区の浸水想定[※]の反映や掲載情報等の更新、凡例色の変更を行った。立川市土砂災害ハザード
マップも水害ハザードマップのデータを反映させ、凡例色の変更等を行った。



立川市防災ハンドブック・立川市防災マップ・水害ハザードマップ…令和4年10月全戸配布

立川市土砂災害ハザードマップ…令和4年12月土砂災害(特別)警戒区域が存在する、富士見町(3～7丁目)、柴崎町(4～6丁目)、錦町(5、6丁目)に配布。

Ⅲ 防災活動体制の充実

7. 想定浸水深表示板 作成・設置

国が推進する「まるごとまちごとハザードマップ」の取り組みとして、多摩川、残堀川の浸水想定区域内の要配慮者利用施設等に想定浸水深を示した表示板を令和3年に4施設(11枚)、令和4年に37施設(60枚)、計41施設(71枚)に設置した。

なお表示されている想定浸水深は、道路の面からの深さとなっている。



地区	水系	施設数(枚数)
富士見町	多摩川	15施設(24枚)
柴崎町	多摩川	7施設(13枚)
錦町	多摩川	9施設(15枚)
西砂町	残堀川	2施設(6枚)
一番町	残堀川	2施設(2枚)
上砂町	残堀川	5施設(9枚)
若葉町	残堀川	1施設(2枚)